

地域通貨運用委託料

6,000 万円の増

問 「ねっぴ～ Pay」のキャンペーン第3弾が実施されるとのことだが、内容は。



答 第1弾、第2弾と同じく決済額に応じた還元キャンペーンを想定しています。1月は0と5のつく日に最大10%の還元、2月の還元率は決定していませんが、同じく決済額に応じた還元を行います。

農地集積協力金

821 万 6,000 円の増

問 農地集積協力金の増額内容について。

答 農地集積協力金は、実質化した人・農地プランの策定地域において、まとまった農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手への農地集積を図る場合に、対象地域の農地面積における機構の活用率に応じて国から交付されます。活用対象の拡大に対して1,201万6,000円が交付されることになり、当初予算380万円との差額821万6,000円を増額補正します。

脱炭素先行地域づくり事業の委託

500 万円の増

問 委託の内容について。

答 脱炭素先行地域に提案した市役所を中心とした四つの公共施設と九会北部地区との二つのエリアで供給側と受給側、双方の電力の流れをコントロールできる送電線で結ぶスマートグリッド事業、及び市の公共施設への太陽光発電設備や蓄電池を導入する事業所の選定のため、詳細な実施設計の作成が主な内容です。

問 事業費総額と財源は。

答 現時点で、事業費は総額約45億円です。交付金27億円、事業者の負担10億円、市の負担8億円と見込んでいます。



道路新設改良

500 万円の組替え

問 道路新設改良の予算組替えの内容について。

答 市道鶉野飛行場線と県道三木穴栗線の接続部分の拡幅工事に際し、電柱の移設補償費が当初見込額を上回ったため、工事費を補償費に組み替えるものです。



県道三木穴栗線と鶉野飛行場線の接続部分の工事の様子。
(令和5年1月16日撮影)

特別支援学校のスクールバス

50 万円の増

問 委託料50万円と債務負担行為1,400万円となっているが。

答 スクールバスに添乗する介助員2名を令和5年4月から民間委託しますが、1か月前倒して3月から委託することになりました。

また、令和4年9月議会で現在のスクールバスに乗車できない生徒が発生しているとの指摘を受け、小型バスの運行委託料やリース代など、令和5年4月からの運行に向けて契約等の準備を始めるものです。



学校給食の材料費

1,500 万円の増

問 1,500万円もの増額理由は。

答 材料の値上がりと加西市産野菜を積極的に使うようになったためです。調味料も年契約から月契約に見直しているため、値上がりしています。令和3年は1食当たり平均250円だったものが、令和4年では270円になっています。

問 価格はこれからも上がり続ける。コストを抑える工夫や見直しもしないと。



答 当面は給食の質を維持していくつもりですが、公費で材料を購入しているので、費用を度外視することはありません。



討 論

賛 成

・市役所などの公共施設の電気代の増、学校園の給食材料費の増だけでも約6,000万円もの増となっており、市民の血税を充てる以上、工夫して費用を抑えることも必要だ。また、デジタル商品券「ねっぴ～ Pay」に一気に移行するのではなく、公平性の観点からも紙の商品券も取扱いすべきではないか。(本会議)

議決結果

全会一致で原案可決